

男性の育児参加、理解に向けて スリール「イクボスブーツキャンプ」

— 白河桃子 —

相模女子大客員教授
少子化ジャーナリスト

育ボスブートキャンプの効果

～ダイバーシティを学ぶために、
なぜ体験が必要か～



自分らしい、ワーク&ライフの実現へ。

スリール株式会社

〒162-0056

東京都新宿区若松町18-3-203

URL: <http://sourire-heart.com/>

自己紹介

スリール株式会社 代表取締役 堀江敦子(31)

- 6年前、25歳の時に起業
 - ー大学時代より「働く女性の子育て支援」「介護予防」
 - ー中学時代より200名以上の子どもをみる
 - ー楽天リサーチにて3年半勤務
- 2010年スリール株式会社
ワーク&ライフ・インターン事業を実施
「仕事と子育ての両立体験インターンシップ」
- 内閣府 男女共同参画 専門委員に就任
(その他、文京区、厚生労働省でも委員を実施)
- 千葉大学 教育学部非常勤講師
- 日経ビジネスオンライン主催
「チェンジメーカー10」に選出



「育ボスブートキャンプ」とは？



マネージャーが多様な部下の状況を、**体を張って**知り、
体感をして、自分の**マネジメント**に活かす

どれだけ「ブートキャンプ」なの？



1 7時退社

3日連続
(全4-6回)

仕事の
効率化



買い物

料理

メンバーとの調整
(マネジメント)



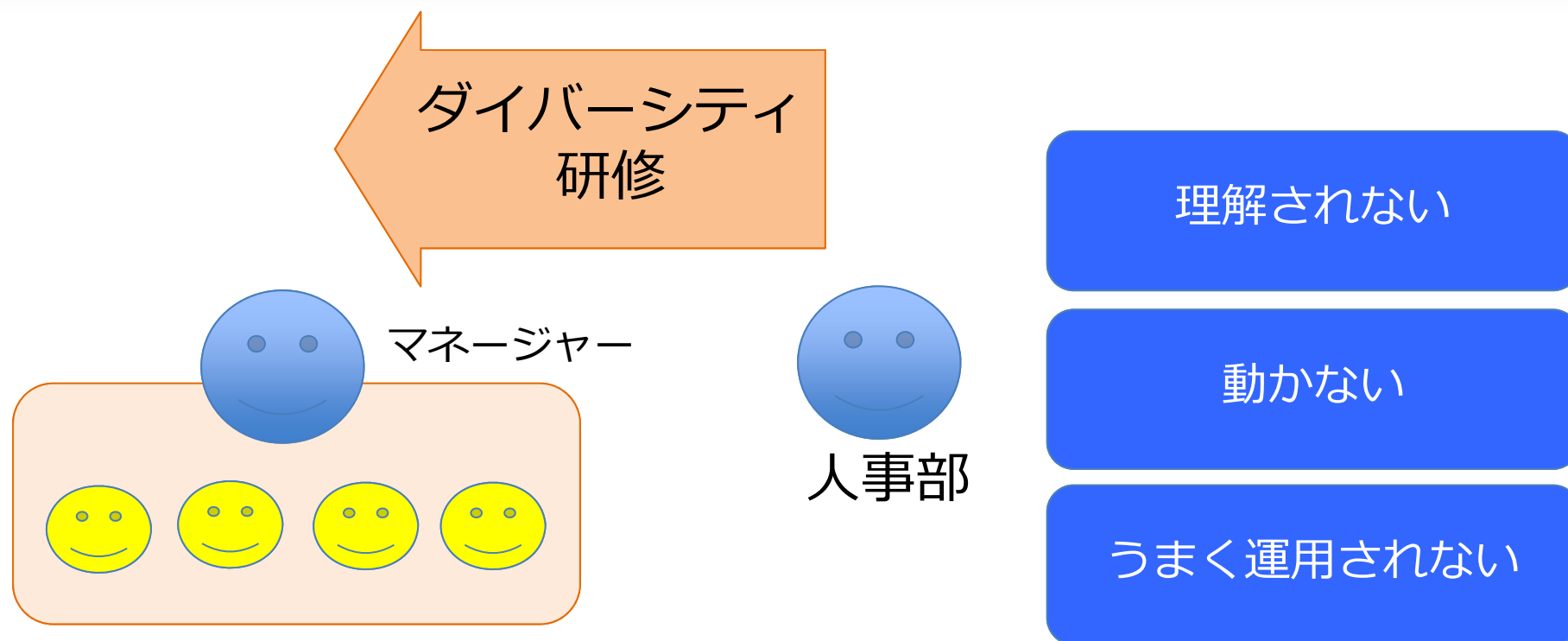
宿題

遊び

体力

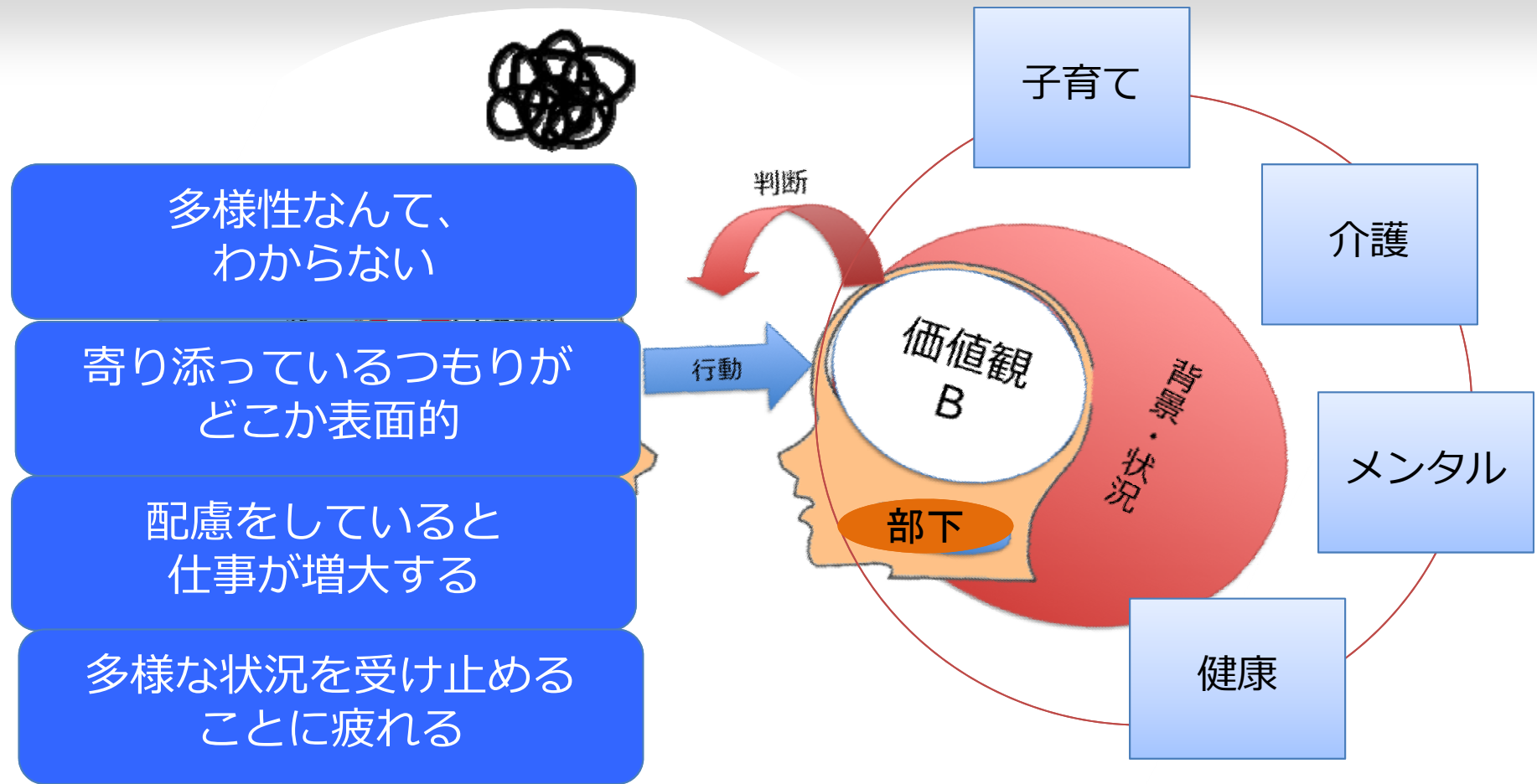
「仕事の効率化」「マネジメント」
を同時に学べる研修プログラム

ダイバーシティ推進における悩み～会社～



座学の研修を行っても、
実質的に変化が生まれない

ダイバーシティ推進における悩み～マネージャー～



「理解する」仕掛けと共に「マネジメント (任せる)方法」を
伝えないとマネージャーが辛くなる